

回 覧									

令和7年8月1日
久慈市衛生班連合会

コンポスターで、生ごみ削減！

～共同購入のご案内～



コンポスターとは、畑や庭など地面に設置して利用する容器で、生ごみや刈り取った草などと、土をサンドウィッチ状に容器の中に投入していくもので、雨や風などを避け、たい肥を作りやすくすることができます。

久慈市衛生班連合会では、生ごみの削減と有効活用を推進しようと、下記のとおりコンポスターの共同購入事業を実施します。

希望される方は、下記事務局へ電話にてお申込みください。後日、引渡し日時などをご連絡します。

この機会に、生ごみからのたい肥作りに挑戦してみませんか。

1 受付期間（予定数量に達したところで受付終了とします）

令和7年8月1日（金）～8月29日（金）

2 申込先

久慈市衛生班連合会事務局（久慈市生活環境課内）
電話：54-8003（直通番号）

3 価格

- ・ 230型（直径800mm×高さ716mm）：6,900円/1台
- ・ 130型（直径600mm×高さ660mm）：4,400円/1台

生ごみ減量作戦進行中！！

《生ごみ減量取り組みについて》

久慈市内の家庭から排出される燃えるごみのうち、生ごみが占める割合は約4割と多く、そのうち水分が6割を占めるなど、家庭ごみの減量には、生ごみの減量が効果的であることがわかっています。

その方法の一つとして、コンポスターを利用したたい肥づくりを紹介します。

《台所ごみが無くなる!?!》

日当たりのよい土の上を耕し、地中15cm位に埋めて設置します。

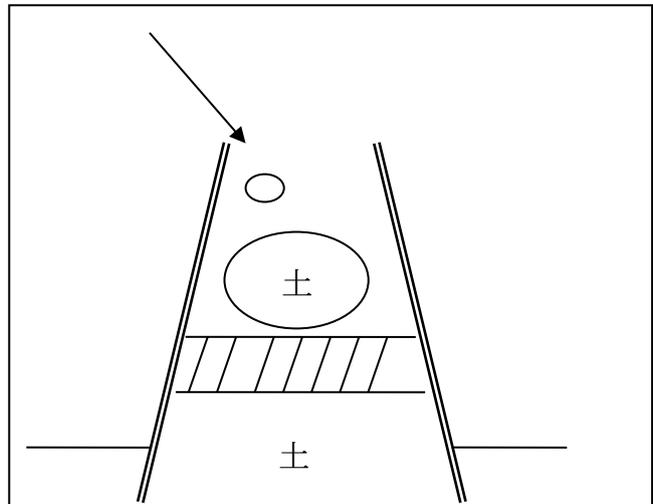
これに水分を十分に切った生ごみを投入します。水分を上手に切るには新聞紙に包んだり、一晩ざるに置いてからコンポスターに入れるなど一手間かけることがコツとなり、発酵が進みやすく、臭いも抑えることができます。

生ごみを入れたら土や枯葉をかぶせ、スコップなどでかき混ぜます。このとき、発酵促進剤も投入すると発酵も早まり、消臭効果もあります。

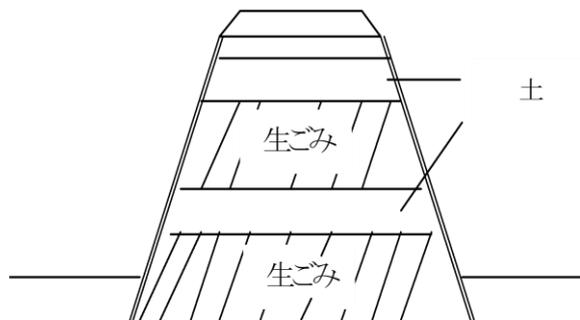
コンポスターがいっぱいになったら、容器を土から外し、覆土し、スコップで切り返しながら数ヶ月で完成となります。こうしてできたたい肥は養分をたっぷり含んでおり、家庭菜園の肥料などとして使用できます。

いままで燃えるごみとして捨てていた生ごみをたい肥として利用でき、結果として家庭から出る生ごみの減量につながります。

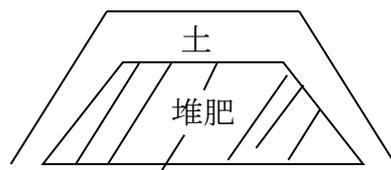
※注意：コンポスターを利用して生ごみを発酵させると臭気が発生します。きちんとした覆土や発酵促進剤・消臭剤を利用することで臭気を軽減させることができます。



生ごみを入れたら、土や枯葉をかぶせ、スコップなどでできりかえします。発酵促進剤も入れると、発酵が早まり、消臭効果もあります。



いっぱいになるまで繰り返します。



いっぱいになったらコンポスターをはずし、覆土します。この後、スコップなどでできりかえしながら数ヶ月で完成となります。